

がんばれ! 播磨の菓子業者

事故米の不正転売事件で打撃を受けた播磨の菓子業者を支援しようと、姫路市は6日、市役所地下の売店で姫路菓子同業組合(43業者)メンバーの商品を売り出す。姫路の菓子フェアを始め、ファンらが和洋の銘菓をさっそく買求めた。販売は土、日、祝日を除く3日までで、午前9時〜午後5時。

事故米風評 経営難も

姫路市役所で46品販売

風評被害を受けた杵屋や福壽堂本店、糸びす屋など15業者の46品を販売。訪れた職員や市民は品定めを楽しんだあと試食したり、おやつや土産として買い込んだり。まんじゅうを選んだ同市飾磨区の会社員橘秋代さん(66)は「毎日

31日までフェア

通って全種類、買います。店は大変だと思いますが、頑張っ
てほしい」とエールを送っていた。
市によると、農水省が事故米が流れたとする業者名を公表した9月16日以降、一日の売り上げが3000円に落ち



「フェア」豊かな菓子がそろった「姫路の菓子フェア」(姫路市役所地下売店)

込んだ店もあったといい、現在も客足が戻らず、経営難を訴える業者が目立つという。

フェア初日の売り上げは6万9899円。まんじゅうを買い求めた石見利勝市長は「被害を最小限にとどめるためにも、職員で率先して購入したい」と話していた。

姫路市内4業者 製品に問題なし

汚染米風評被害 防止で市が検査

米卸売加工会社「三笠フーズ」(大阪市北区)による汚染米転売事件で、姫路市は26日、過去に流通した汚染米が材料に混入した可能性があり、現在は安全性に問題のない材料を使用している市内の菓

子業者など4社の製品を検査した結果、メタミドホスは検出されなかった、と発表した。

業者は▽五百城二ユートリイ▽白鷺陣屋▽糸びす屋▽杵屋。市は「現在の製品に汚染米は一切含まれていないが、風評被害を防ぐため検査結果を公表した」としている。

【松田栄二郎】